

文京SOGI にじろサロン



● LGBTQ+当事者・そうかもしれないと感じている方

● LGBTQ+支援者の方

● LGBTQ+について知りたい方

今回はオンライン（Zoom）で開催します！

誰もが尊重される環境について、一緒に考えてみませんか。多様な性のお悩みや疑問など、みなさんで気軽にお話しできるサロンです。

テーマ

「ここにいていい」と思える場をつくる ～性的マイノリティの居場所づくりから考える地域のあり方～

ゲスト：佐々泰之さん（武蔵野市男女平等推進団体lag(ラグ)スタッフ）

講師

丸山 真由さん（NPO法人共生社会をつくる性的マイノリティ支援全国ネットワーク理事／武蔵野市男女平等推進団体lag(ラグ) 代表）

日時

2026年9月27日(日)午後2時～午後4時

対象

どなたでも（定員：20人程度）

参加方法

参加費無料、事前申込制（9月24日(木)〆切）
下記申込フォームまたは右記QRコードからお申し込みください。

<https://logoform.jp/form/6KSu/1750562>

申込はこちら▶



▲丸山真由さん



必要なもの

- ・インターネット接続環境（wi-fi推奨）
- ・パソコン、タブレット、スマートフォン等の接続機器
- ・Zoomへの接続環境（タブレットまたはスマートフォンの場合は、事前に「Zoom Workplace」という無料アプリをダウンロードしてください。）

個別相談

サロン終了後、講師と1対1で相談ができます。
定員2人。1回50分まで。参加申込の際にあわせてお申し込みください。

*より多くの方に相談いただけるよう、申込多数の場合は、前回（7月）の個別相談を受けていない方のご予約を優先の上、先着順とさせていただきます。（相談の希望は、どなたでも可能です。）

*相談の可否は、別途メールでご連絡します。

お問合せ

文京区総務課ダイバーシティ推進担当

☎ 03（5803）1187（平日午前8時30分～午後5時）

FAX 03（5803）1331

講師・ゲストプロフィール

● 丸山 真由(まるやま まさよし)さん

NPO法人共生社会をつくる性的マイノリティ支援全国ネットワーク理事／武蔵野市男女平等推進団体lag(ラグ) 代表。2016年より、性的マイノリティの相談支援や居場所づくりに携わる。男女平等参画センター勤務を経て、自治体や全国電話相談事業などでLGBTQ+の相談支援やコーディネーターに従事。現在は法政大学をはじめ、複数の大学でジェンダー・セクシュアリティに関する相談支援や居場所づくり、啓発、環境整備に携わる。自治体の人権施策に関する審議会委員のほか、講演・執筆・研修などを通じて、現場で生まれる声と制度・環境のあり方をつなぐ活動に取り組んでいる。

● 佐々 泰之(さっさ たいし)さん

1998年、東京都文京区生まれ。早稲田大学出身。不動産業に勤務する傍ら、2022年より性的マイノリティの居場所づくりやピアサポートに取り組む「lag」のスタッフとして活動。武蔵野市を中心に、既存のコミュニティにつながりにくい人も安心して参加できる交流会やイベントの企画・運営、性の多様性に関するサポートや啓発活動などを行う。現在は生活拠点を大阪に移し、lagスタッフとしての活動を継続中。



SOGIって何？

Sexual **O**rientation 「性的指向」と **G**ender **I**dentify 「性自認」の頭文字をとった言葉です。

「性的指向」とは、どのような性別の人を好きになるか、ならないか、ということです。同性を好きな人はゲイやレズビアン、同性も異性も好きな人はバイセクシュアル、異性を好きな人はヘテロセクシュアルなどと呼ばれています。恋愛感情を抱かないアセクシュアルと呼ばれる人もいます。性的指向は自分の意思で決められるものではありません。

「性自認」とは、「私は女である」「私は男である」「どちらでもない」など、自分がどの性別だと感じているか、いないか、ということです。この感覚が、生まれたときに決められた身体の性別と一致する人もいれば、しない人もいます。

人それぞれに「性的指向」と「性自認」があり、1人1人違って当たり前のです。

オンライン受講のQ&A

オンライン受講が初めてで不安です。

難しい操作は必要ありません。区から事前に参加の流れやテストURLをお送りします。ご不明な点等ございましたら担当までご相談ください。

名前や顔・声などをほかの参加者に知られたくないです。

お名前はニックネームを使っていただきます。カメラ及びマイクはオンでもオフでも構いません。チャットを使うこともできます。

サロン終了後に視聴することはできますか。

サロン実施中に限り参加者の方のみ視聴可能で、録画は残しません。参加者ご自身での録音・録画もご遠慮ください。